

# 天塩町校務DX計画

令和元年に発表されたGIGAスクール構想により、令和2年度の町内小中学校のネットワーク環境や児童生徒1人1台端末の整備を行う中、令和3年度からGIGAスクール構想が本格的にスタートした。新学習指導要領に基づいた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるべく進んできた。

また、教員の働き方を支援する校務支援システムを令和元年度からの共同利用型により利用し、校務DX化に取り組んでいる。

文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示す項目を実現するため、次に掲げる事項を重点的に推進する。

## 1 校務系・学習系ネットワークの統合の検討

現在、教員ネットワーク（校務系）と児童生徒ネットワーク（学習系）を物理的に分離し、セキュリティ対策を実施している。今後、教員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストに沿ったセキュリティ対策が経費面を含め、どのように実現できるかを検証し、校務系及び学習系ネットワークの統合についても検討を進める。

## 2 校務支援システムのクラウド化

校務支援システムは、北海道広域で利用する北海道公立学校校務支援システム（C4Th）を利用している。現在は、学校内のみの利用にとどまっているが、今後、委託会社によるクラウド化も計画されており、学校外や在宅勤務などでも利用できる環境が期待できる。また、別サービスとして文書やデータなどの作業ファイルの保存先のクラウド化についても検討がされており、サービス提供された場合、利用について今後協議していく。

## 3 クラウドツールの活用

各種会議や研修に際しては、必要に応じハイブリット（対面・オンライン）で実施し、端末機器の利用による資料のペーパーレス化などに取り組み、種々業務におけるペーパーレス化についても推進する。

教育委員会と学校間の通知や調査物については、これまで同様、電子メールを活用し、FAXや押印の原則廃止に取り組み、年々ICT化が進歩する中、有効なサービスを積極的に検討し、学校経営の軽減及び児童生徒のICT教育の推進を図る。